

2025 年度 事業報告書

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所

1 事業の成果

2026 年 3 月 31 日時点の来館者累計は 92,741 名、2025 年度の来館者数は 6,425 名で、前年度比 110%となった。特に 4 月は、「大根島ぼたん祭」や「水墨画教室 墨鳳作品展示会」の開催効果により、前年度同月比 203%となった。今後も松江市や公民館等と連携し、来館者増加につながる事業を進めていきたい。

2024 年度に一区切りを迎えた蔵書の登録・公開作業に続き、今年度は手書き原稿、手紙、日記、メモなど書籍以外の資料について、収蔵品管理システムへの登録を進めた。あわせて、外部公開を見据えた入力ルールの整備や検索性向上のための項目見直しを行い、博士独自の分類タイトルについても検索対応に向けたデータ整備を進めた。

講座事業では、東方学院松江校で 13 講座、中村元記念館文化講座で 7 講座を開催し、計 112 名が受講した。申込者数は前年度を下回ったものの、オンライン・ハイブリッド講義では新規受講生が増加した。また、所属研究員による中村元思想文化カフェを 2 回開催し、収蔵品展「戦後 80 年 中村元博士の戦争・平和」は多くのメディアに取り上げられた。第 10 回中村元東洋思想文化賞では 2 名が受賞し、大学連携では立正大学研究所の視察受入れや、島根県立大学・島根大学のゼミ活動に協力した。

国際文化交流事業では、国際ヨーガの日記念イベントのほか、ドゥルパドや「観音日和」など、インド文化に触れる催しを開催した。また、駐日インド大使や在大阪・神戸インド総領事の来館、駐日インド大使館主催「島根県デー」への展示協力を通じて相互交流を行った。さらに、松江市主催事業や八束公民館との共同事業、八束学園との交流事業にも継続して取り組んだ。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施事業の 日時・場所、 従事者の人数	受益対象者 の範囲 及び、人 数、評価	事業費の 金額 (単位：千円)
故中村元博士の蔵書の管理及び中村元記念館の管理と運営	1. 中村元博士蔵書整理事業 2. 中村元記念館管理・運営		別紙参照	15,123
東洋思想・文化に関わる研究、講座、イベント等の実施	1. 中村元記念館各種講座の運営 2. 研究員による研究活動 3. 企画展 4. 中村元東洋思想文化賞 5. 大学連携事業		別紙参照	4,258
東洋思想・文化の普及、啓発のための出版及び広報事業	1. 出版事業 2. 博物館/施設との連携 3. メディア対応 4. その他広報活動 5. ミュージアムショップ運営		別紙参照	568
国際文化交流事業	1. アジア文化紹介事業		別紙参照	213
地域の文化、経済、観光、人づくりを推進するために必要な事業	1. 地域・行政との交流事業 2. 子ども教育事業		別紙参照	13

3 会議に関する事項

(1) 理事会

- ◆第1回 理事会（開催年月日 2025年5月19日）
開催場所 中村元記念館 応接室
出席者数 14名（うち表決委任者 9名）／ 理事人数 14名

議決事項の概要

- 第1号議案 2024年度 事業報告に関する件
第2号議案 2024年度 決算報告 および 監査報告に関する件
第3号議案 2025年度 事業計画に関する件
第4号議案 2025年度 予算に関する件
第5号議案 役員の変更について
第6号議案 役員報酬支給額について
第7号議案 中村元記念館東洋思想文化研究所組織・運営規程の変更について
その他 報告事項
1. 中村元記念館 今後の運営について
2. 中村元博士 所蔵文書の松江市への寄贈についての報告

- ◆第2回 理事会（開催年月日 2025年6月1日）
開催場所 中村元記念館 応接室
出席者数 13名（うち表決委任者 8名）／ 理事人数 13名

議決事項の概要

- 第1号議案 理事長 副理事長の選任について

(2) 総会

- ◆総会（開催年月日 2025年5月26日）
開催場所 中村元記念館 応接室
出席者数 18名（うち表決委任者 11名）／正会員数 20名

議決事項の概要

- 第1号議案 2024年度 事業報告に関する件
第2号議案 2024年度 決算報告 および 監査報告に関する件
第3号議案 2025年度 事業計画に関する件
第4号議案 2025年度 予算に関する件
第5号議案 役員の変更について

第6号議案 役員報酬支給額について

第7号議案 中村元記念館東洋思想文化研究所組織・運営規程の変更について

その他 報告事項

1. 中村元記念館 今後の運営について
2. 中村元博士 所蔵文書の松江市への寄贈についての報告

特定非営利活動法人

中村元記念館東洋思想文化研究所

2025 年度 事業報告書



中村元記念館



Nakamura Hajime
Memorial Hall

नाकासुरा हाजीमे स्मारक सभागृह

▽2025年度 事業報告	1
I 全体報告	1
入館者数	1
寄付の状況	1
II 個別事業報告	2
(1) 故中村元博士の蔵書の管理及び中村元記念館の管理と運営	2
(2) 東洋思想・文化に関わる研究、講座、イベント等の実施	4
(3) 東洋思想・文化の普及、啓発のための出版及び広報事業	7
(4) 国際文化交流事業	10
(5) 地域の文化、経済、観光、人づくりを推進するために必要な事業	11

▽2025年度 事業報告

I 全体報告

入館者数

2012年10月10日の開館以降、2026年3月31日時点での延べ来館者数は92,741名となった。2025年度は6,425名にご来館いただき、前年度比110%の増加となった。

特に4月は、松江市役所八束支所による「大根島ぼたん祭」および「水墨画教室 墨鳳（Bokuhou）作品展示会」の開催により集客力が向上し、前年度比203%の増加につながった。

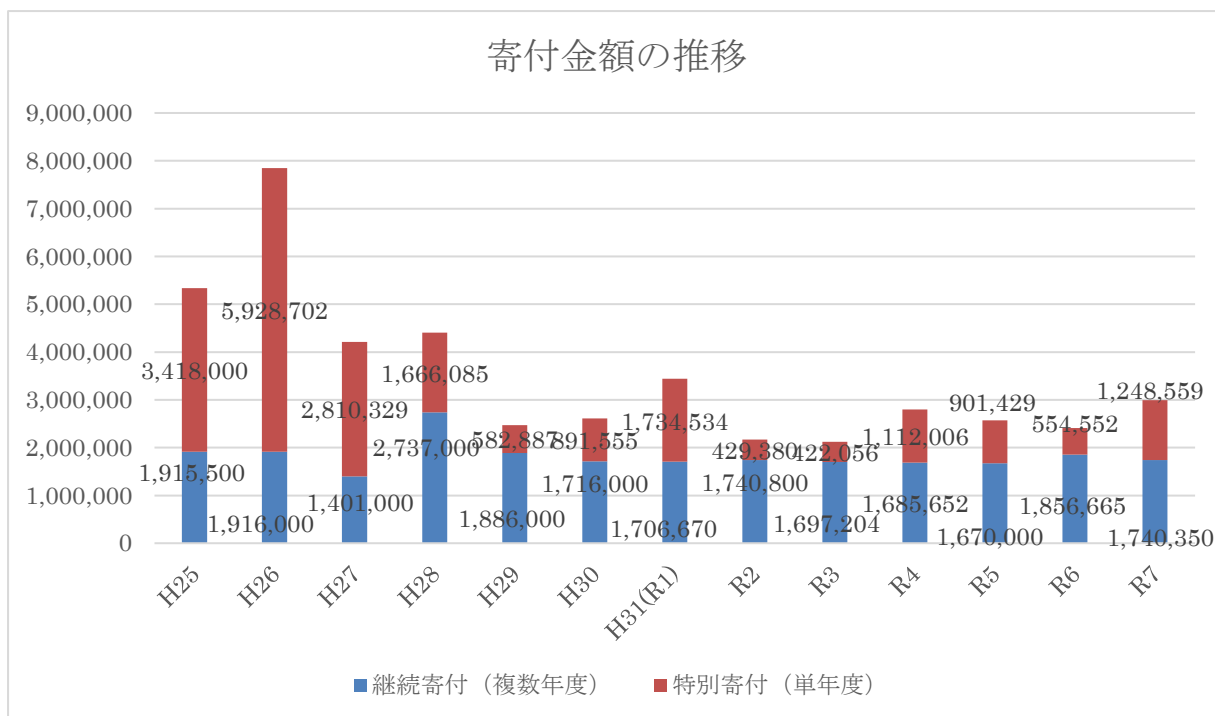
今後も、松江市や公民館等との連携を図るとともに、魅力あるイベントや企画展示を開催し、来館者数のさらなる増加につなげていきたい。

月別入館者数

月	2024年度 入館者数（人）	2025年度 入館者数（人）	対前年比（%）
4月	658	1,335	203%
5月	577	782	136%
6月	469	570	122%
7月	407	463	114%
8月	441	433	98%
9月	496	430	87%
10月	995	632	64%
11月	600	577	96%
12月	463	504	109%
1月	0	0	0%
2月	294	238	81%
3月	461	461	100%
合計	5,861	6,425	110%
月平均	488	535	
累計	86,316	92,741	

寄付の状況

当館は篤志の皆様のご寄付で運営している施設である。一般的な寄付である特別寄付、複数年度に渡る寄付である継続支援寄付の募財状況について報告する。



2025年度の寄付金総額は3,010,689円となり、個人から大口の特別寄付を賜ったことにより、前年度比569,028円の増加となった。継続寄付と特別寄付の割合は、上記グラフのとおりである。また、認定NPO法人の継続要件である「3,000円以上の寄付者を100名以上確保する」という目標についても、ご支援者の皆様のご協力により、6年連続で達成することができた。

2025年度より、蔵書以外の膨大な資料の登録作業を開始したことから、今後はこれまで以上に人員体制の充実が求められている。

これまでに寄せられた数多くのご支援に心より感謝申し上げますとともに、今後も皆様のご期待に応えられるよう、中村元記念館の運営および事業活動に誠意をもって取り組んでいきたい。

II 個別事業報告

(1) 故中村元博士の蔵書の管理及び中村元記念館の管理と運営

1. 中村元博士所蔵文書および資料整理事業

事業の目的	「東洋思想研究の世界的権威」として松江名誉市民を贈られた故中
--------------	--------------------------------

	<p>村元博士の所蔵文書および資料を、松江市の歴史的財産として保存し、哲学のみならず幅広い人文科学研究の進展に寄与すること。</p> <p>各種資料の整理、記録、調査によって明らかになったものを企画展や出版物によって公開を行い、広く中村元博士の業績について顕彰する。</p>
実施期間	通年
実施人数	職員:5名、ボランティア のべ54名
事業内容	<p>■資料整理・登録</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料検索管理システムを用いて、登録を実施。 <p>2025年度は1,382件(新規974件、修正408件)を登録。博士の足形(出生直後)、中村家家譜、卒業論文「中論」草稿、絶筆など重要資料を精査した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 博士独自の分類(MSS)タイトル一覧作成(途中) <p>博士が自ら資料に記載した分類タイトルを、キーワード検索できるようなデータを作成(現在3,577件入力済み)。</p> <p>■資料の公開</p> <ul style="list-style-type: none"> 常設展示、企画展等で順次公開中。 <p>今年度は、資料検索管理システムへの入力業務を本格化させるにあたり、将来的な外部公開を見据えて、収蔵品登録システムにおける入力ルールの策定を行うとともに、検索性向上のための属性付与など、フィールド項目の変更および最適化を実施した。</p> <p>次年度においては、同システムのさらなる改善を図るとともに、未登録資料の調査を進め、中村元博士の業績顕彰を支える基盤をより一層強固なものとしていきたい。</p>

2. 中村元記念館管理・運営事業

事業の目的	<p>中村元博士の業績を広く一般の人に顕彰する。</p> <p>記念館運営を滞りなく行うための事業。</p>
実施期間	通年
実施人数	職員・スタッフ:5名(通年)
事業内容	<p>■団体見学</p> <p>9回 参加者人数:70名(学芸員解説)</p>

	<p>個人、市内外の社協・仏教会等の団体への館内説明を行った。</p> <p>■研修参加 10月2日「助成金申請書書き方セミナー」職員2名参加</p> <p>■消防・避難訓練 第1回 9月26日(合同避難訓練)職員5名参加 第2回 3月18日 消火設備訓練 職員4名参加</p>
--	---

(2) 東洋思想・文化に関わる研究、講座、イベント等の実施

1. 中村元記念館各種講座の運営(東方学院松江校 中村元記念館文化講座)

事業の目的	「東洋思想の世界的権威」である中村元博士の私塾「東方学院」の理念を継承すべく「東方学院松江校」・「中村元記念館文化講座」を開講する
実施期間	2025年4月1日～2026年3月31日
実施人数	職員:5名(通年) 講師:20名
事業内容	<p>■今年度の講義は当初東方学院松江校、中村元記念館文化講座を合わせて20講座を開催した。*のべ受講申込者数:112名 (開催講座数)(講義回数減の講義も含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東方学院松江校 13講座 ・中村元記念館文化講座 7講座 <p>※オンライン・ハイブリッド講座 昨年度より全体の申込人数は減少したが、新規でオンラインで受講される受講生の割合は増えつつある。</p>

2. 研究員による研究活動

事業の目的	中村元記念館東洋思想文化研究所研究員:9名。 故中村元博士が開拓された学問の道を探求し、山陰地域の学術・文化の振興に寄与することを目的として、研究活動を行っている。
実施期間	通年
実施人数	研究員 9名
事業内容	■「中村元思想文化カフェ」の実施

	<p>研究活動報告の場として、所属研究員による「中村元思想文化カフェ」を実施した。令和7年度は2回開催し、研究員の関心や企画展の内容に沿った講演など、毎回異なるテーマを設定した。実施内容については、以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆第21回 2025年9月6日(土)10:30～12:00 「収蔵品展解説:戦後80年 中村元博士の戦争・平和」 学芸員によるギャラリートーク ◆第22回 2025年12月6日(土)10:30～12:00 岡崎秀紀 「中村元博士と小泉八雲について」 次回の展示予告 「中村家(中村元博士)とゆかりの松江の人々」 *スタッフによるミニコンサート <ul style="list-style-type: none"> ■研究員による講座実施 3講座 ■研究員による書籍発行 <ul style="list-style-type: none"> ・島田隆輔 『宮沢賢治 文語詩稿五十篇 訳注』(鳥影社 2025.11) ■研究員による学術誌・定期刊行物執筆 <ul style="list-style-type: none"> ・島田隆輔 寄稿文「賢治文語詩をよむ」『別冊太陽』(平凡社 2026.3) ・岡崎秀紀 <ol style="list-style-type: none"> (1)「東チベットを訪ねたフランス人探検家 J.Bacot の 1906-07 年の記録 — 『Dans les Marches Tibetaïnes』(1909)、阿墩子と仏人宣教師モンベイグの情報 —」能海寛研究会機関誌『石峰』第 31 号 (2026.3.15) 掲載 (2)「W.K.バルトンが計画した松江市と台湾の下水整備」図録『松江市における衛生思想の歴史と今』(2025.6.1) 掲載 (3) 八雲会機関誌『へるん』No.62(2025年6月27日発行) 掲載 題名「アルゼンチン人ハーニアン、J.M.ローデの日本訪問記 Viaje al Japón(1932)」
--	---

3. 企画展の開催

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・中村元博士とのつながりが深いインドの思想家を紹介する展示の開催。 ・中村元記念館に収蔵する博士の蔵書、資料などの公開を目的とし、展示を行い中村元博士の業績、人となりを広く顕彰する。
実施期間	下記のとおり
実施人数	職員 5 名他

事業内容	<p>① 中村元博士が残した「慈しみの言葉」展 期間：2025年2月12日（水）～4月13日（日）</p> <p>② 水墨画教室 墨鳳（Bokuhou）作品展示会 期間：2025年4月16日（水）～5月25日（日）</p> <p>③ 収蔵品展『戦後80年 中村元博士の戦争・平和』 期間：2025年6月3日（火）～12月27日（土） 展示にあわせて、第21回中村元思想文化カフェを行い、ギャラリートークをした。（9月6日（土）10:30～12:00）</p> <p>④ 収蔵品展『中村元博士誕生—松江・中村家の歴史をたどる—』 期間：2026年2月10日（火）～6月28日（日）</p>
-------------	---

4. 中村元東洋思想文化賞

事業の目的	連携大学を含む全国の国公立及び私立大学100校を対象に、大学生・大学院生の優れた論文を広く顕彰し今後の研究を奨励することを目的とする
実施期間	授賞式 2025年10月25日
実施人数	職員5名他
事業内容	<p>東洋思想を学ぶ学生による学士論文、修士論文を中村元記念館の会場から表彰した。授賞式は松江市 山根幸二副市長ご臨席の元、優秀賞、松江市長賞を授与し、賞状と盾、学術奨励金の他に記念品が贈られた。</p> <p>■優秀賞 辻 春樹（つじ はるき）氏（東京大学大学院） カーリダーサ作 Kumārasambhava の伝承研究 —第4・5章に対する注釈文献の比較検討を中心に—</p> <p>■松江市長賞 榮 惟樹（さかえ ゆいき）氏（九州大学大学院） インド伝統医学における養生法の文献学的研究 —『スシュルタ・サンヒター』4.24を中心に—</p> <p>■奨励賞 該当なし</p>

5. 大学連携事業

事業の目的	インド哲学や仏教学を学べる大学や、近隣の大学、大学院と連携することで、高等教育の場で、記念館を活用していただくことを目的とする。
実施期間	下記の通り
実施人数	職員 スタッフ 5名ほか、連携大学ほか
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■連携大学の事業紹介を行った ポスター掲示、パンフレット、チラシの配架など ■島根県立大学、島根大学(4月～12月) 支所の AI 事業に関連したゼミ活動への協力(複数回) ■立正大学 館内見学 2025年9月30日(火)
連携先	大正大学、立正大学、佛教大学、島根大学、島根県立大学、東京大学(インド哲学仏教学研究室)、東洋大学、武蔵野大学、龍谷大学、大谷大学

(3) 東洋思想・文化の普及、啓発のための出版及び広報事業

1. 出版事業

事業の目的	中村元博士の業績やその理念を広く顕彰する
実施期間・人数	通年 職員 5名
事業内容	■「慈しみの心」山陰中央新報社 販売協力

2. 博物館/施設との連携

事業の目的	広く全国の方へ東洋思想・哲学を普及するため、哲学者を顕彰する全国の施設と連携し普及活動を推進
実施期間・人数	通年 職員 5名
事業内容	■連携協定を結んでいる「史跡足利学校」ほか、石川県金沢市「鈴木大拙館」、石川県かほく市「石川県西田幾多郎記念哲学館」をはじめ、古代出雲歴史博物館など近隣の博物館や美術館などとはパンフレット・ポスターの掲示など広報についての連携を継続中。

3. メディア対応

事業の目的	中村元博士、記念館の紹介、博士の業績の顕彰などのため、各種媒体、メディアへの取材対応、記事掲載依頼を行った
実施期間・人数	通年 職員・スタッフ 5名
事業内容	<p>①新聞記事掲載(「慈しみの心」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山陰中央新報『第1面「慈しみの心」毎日掲載 <p>②新聞記事掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆【山陰中央新報】 <ul style="list-style-type: none"> ・「慈しみの心」除く新聞記事掲載 ・山陰中央新報 情報BOX 企画展・イベント情報掲載 ・こだま欄 ・りびえーる(山陰中央新報) 企画展情報掲載 ・座右の銘を見つけて「慈しみの言葉」展 松江・中村元記念館(2025/4/9) ・【出雲】水墨画教室 墨鳳(ぼくほう)作品展(2025/4/14) ・中村元記念館 収蔵品展『戦後80年中村元博士の戦争・平和』(2025/8/4) ・中村元博士から平和学ぶ 戦後80年、松江の記念館で企画展(2025/9/7) ◆【日本海新聞】 <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵品展『中村元博士誕生—松江・中村家の歴史をたどる—』(2026/2/13) ・中村元記念館特別講座のお知らせ(丸井浩先生特別講座 2025)(2026.2.20) <p>③八束公民館だより</p> <p>【八束のひろば 第34号～37号】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村元博士が残した『慈しみあふれる言葉』を紹介します⑬～⑰ <p>④市報松江 イベント情報「でかけてごしない」掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆5月号～8月号、10月号～11月号、2月号～4月号 <p>⑤ Web</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NHK 島根 NEWS Web 「松江“戦後80年”中村元 博士の戦争体験伝える企画展」

	<p>・Yahoo!JAPAN ニュース 「戦争で得たものは荒廃と貧窮」戦後 80 年 …哲学者・中村博士が訴える 平和を希求する心を次代に 島根 ・境港観光協会 特集「美術館を巡り、白壁のまちを散策…。 鳥取でノスタルジックな大人の夏旅」(記念館紹介)</p> <p>⑥ 取材対応</p> <p>◆NHK One</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根松江ゆかりの中村元博士と小泉八雲 共通点を知る 講演会中村元博士の残した慈しみの言葉展 <p>◆山陰中央テレビ(TSK news イット！内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「中村元博士の戦争・平和」(6/17 放送) <p>◆NHK 松江放送(NHK 松江しまねっと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「中村元博士の戦争・平和」(6/26 放送) ・第22回中村元思想文化カフェ(12/6 放送) <p>◆エフエム山陰(ステーションらんでぶ～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「中村元博士の戦争・平和」(8/25 放送) <p>◆松江マーブルテレビ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水墨画教室 墨鳳(ぼくほう)作品展(4/22 放送) ・井上想氏 ドゥルパド演奏会(6/5 放送) ・企画展「中村元博士の戦争・平和」(10/21 放送) <p>◆中海テレビ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念館紹介(11/19 放送)
--	---

4. その他広報活動

事業の目的	中村元記念館及び東洋思想に興味を持っていただくため、チラシやパンフレットだけでなく、ホームページやブログ、フェイスブック・X(旧 Twitter)など様々な媒体を通じて情報発信を行った。
実施期間・人数	通年 職員 5 名
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・記念館紹介パンフレットの配布(約 300 部) ・ご支援のお願いのパンフレット配布(約 1000 部) ・ホームページの運営(講座・イベント情報等適宜発信中) ・メールマガジンの発行 No194～No208(15 回) ・フェイスブックの運営(29 回更新) ・HP/ブログの運営(19 回更新) ・X(旧 Twitter)配信(44 回)

5. ミュージアムショップ運営

事業の目的	<p>一般書店では手に入りにくい中村元博士の著作、東洋思想、仏教関連書籍など、専門書籍を幅広く取りそろえ、来館者の知へのニーズを満たす。</p> <p>記念館オリジナルのお土産品提供による、来館者満足度の向上</p>
実施期間・人数	<p>通年 職員 5 名</p>
販売グッズ	<p>中村元博士の著作をはじめ、哲学や東洋思想に関する書籍を幅広く取りそろえ、一般の書店では入手困難な専門書籍の充実を図った。出版社の協力もあり、DVD 等の映像資料を含めると、現在は 500 種を超える品揃えとなっている。</p> <p>中には、出版社において既に重版未定となっている書籍も多数含まれており、県外から通信販売で購入されるケースも増えている。また、既存の「慈しみの珈琲」に加え、カフェインが気になる方でも楽しめる「トリゴネ珈琲」を新たにショップに追加した。</p>

(4) 国際文化交流事業

1. アジア文化紹介事業

事業の目的	<p>中村元記念館の認知度向上や、新規来館者の獲得を目的とし、広く一般の方を対象に中村元博士が研究されたアジア地域について紹介し、文化的な交流を促進する。インドとの交流を深める。</p>
実施期間・人数	<p>通年 職員 5 名</p>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■シビ・ジョージ駐日インド大使ご来館 来館日:2025年5月13日(火) ■インド大陸最古の伝統音楽 ドゥルパドの響き 実施日:2025年6月3日(火) ■中村元記念館国際ヨーガの日記念 「ヨガと音楽の美味しい休日」 実施日:2025年6月29日(日) ■チャンドル・アッパル在大阪・神戸インド総領事ご来館 来館日:2025年8月19日(火) ■「観音日和 Sadhana yoga retreat」 実施日:2025年10月4日(土) ■駐日インド大使館「島根県デー」 <p>国内在住の印度の方々に、島根県の歴史や文化・食等の魅力を紹介し、島根県をより身近に感じていただく為に駐日インド大使館</p>

	<p>が主催したイベント。記念館の紹介及び博士の功績についてのブース展示協力。</p> <p>実施日:2025年10月6日(月)</p> <p>場 所:駐日インド大使館</p>
--	--

(5) 地域の文化、経済、観光、人づくりを推進するために必要な事業

1. 地域・行政との交流事業

事業の目的	行政、民間、地元八束町の要望に沿った交流事業を実施し、中村元と記念館を知っていただく契機とする。
実施期間・人数	通年 職員 5 名
事業内容	<p>■ 第 13 回中村元記念館杯八束町、世代間交流 GG 大会の開催協力 実施日:2025年6月11日 八束町グラウンド・ゴルフ協会主催</p> <p>■ 八束公民館 掲示板 中村元博士が遺した「慈しみあふれる言葉」紹介事業への協力 *令和2年の開始からの作品59点を、その出典である資料(著作・作文・原稿など)とともに企画展として公開。</p> <p>■ 公民館だよりへの取材・執筆協力</p> <p>■ 島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会 ジオカード配布協力</p> <p>■ 松江市役所八束支所 AI Smart Link 制限実験 への協力</p> <p>■ 新松江市合併20周年記念 「～松江市を巡る謎解き旅～松江綴り」謎解きコース提供・案内協力 期間:2025年8月1日～11月30日</p>
連携先	松江市役所八束氏支所・八束公民館、まつえ北商工会、八束町内の自治会・松江観光協会など

2. 子ども教育事業

事業の目的	中村博士の業績を知ることで、郷土への誇りを持っていただく。博士の思想「慈しみ」の心にふれてもらうことで、小中学生の情操教育に役立てる。また、高校生・大学生にも自習室を解放し利用してもらう。
実施期間・人数	通年 職員 5 名
事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 自習室の開放 記念館の静かな環境で、勉強や読書を行ってもらえるよう、小・中・高・大学生に自習室を解放した。 図書閲覧室での自習利用多数■ さるすべりコーナーでの文化紹介本の設置■ 八束学園へ出張講座など<ul style="list-style-type: none">・中村元博士についてのお話と読み聞かせ 実施日:2025年11月25日、26日 博士および記念館についての説明に加え、博士が研究したインドの文化や思想について理解を深めることができる 児童書の読み聞かせを、記念館の学芸員が行った。■ 中村元記念館見学 八束学園 2 年生(生活科町探検学習):2025年11月26日 八束学園 6 年生(慈しみの読書週間):2025年11月28日 湖東中学校(自主研修):2025年10月17日 八束学園 8 年生(ふるさと島根 PR):2025年6月25日